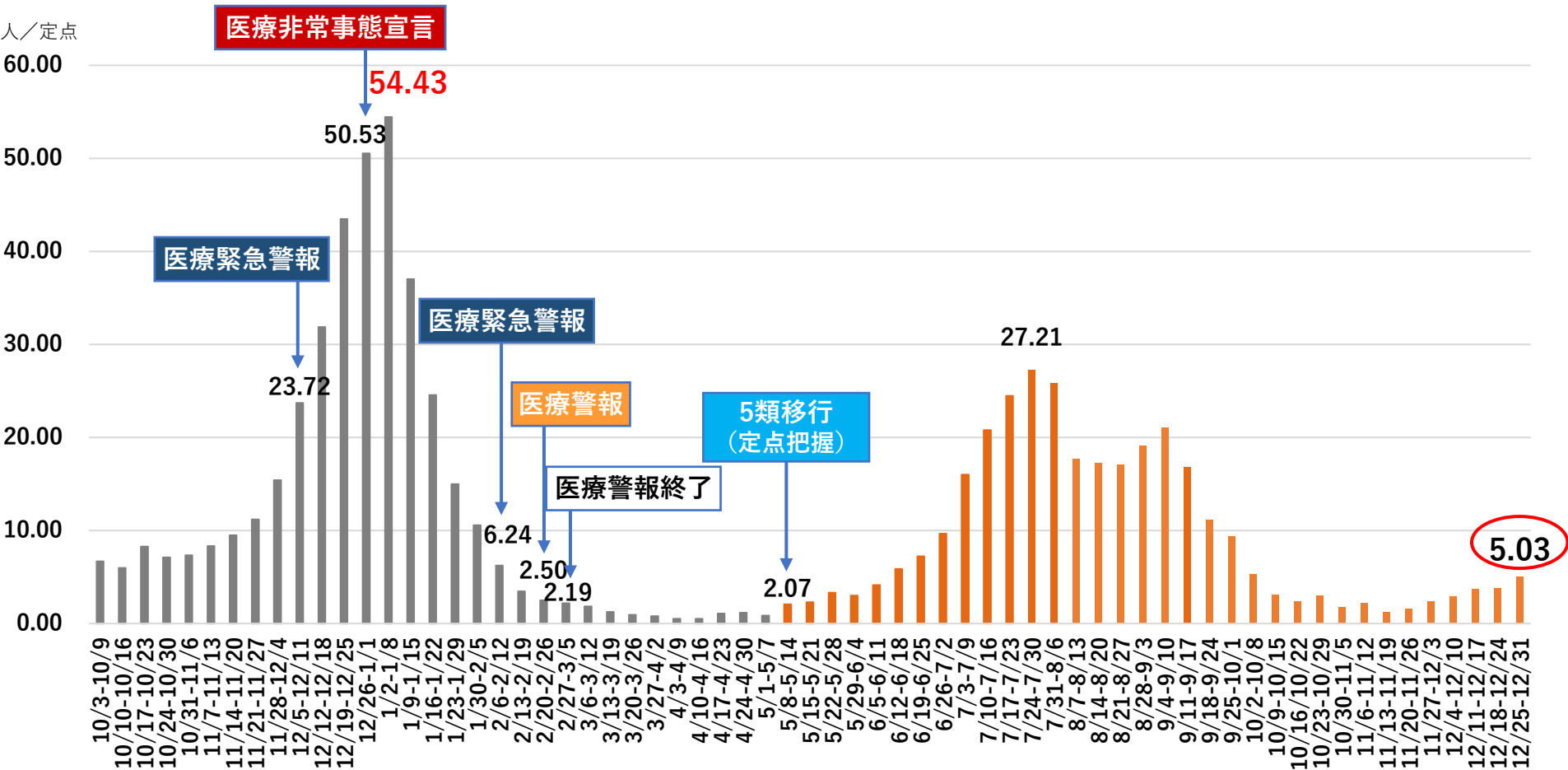


- ・ 12月25日の週は速報値5.03(前週3.83、前週比1.3倍)と、6週連続で前週比増となった
- ・ 定点当たりの報告数が5を上回ったことから、県全体の感染状況区分が12週ぶりに「黄区分」となる見込み
- ・ 感染の増加傾向が続いているとともに、過去3年間、年末年始の休み明けに感染が拡大していることから、引き続きリスクに応じた感染対策の実践が必要

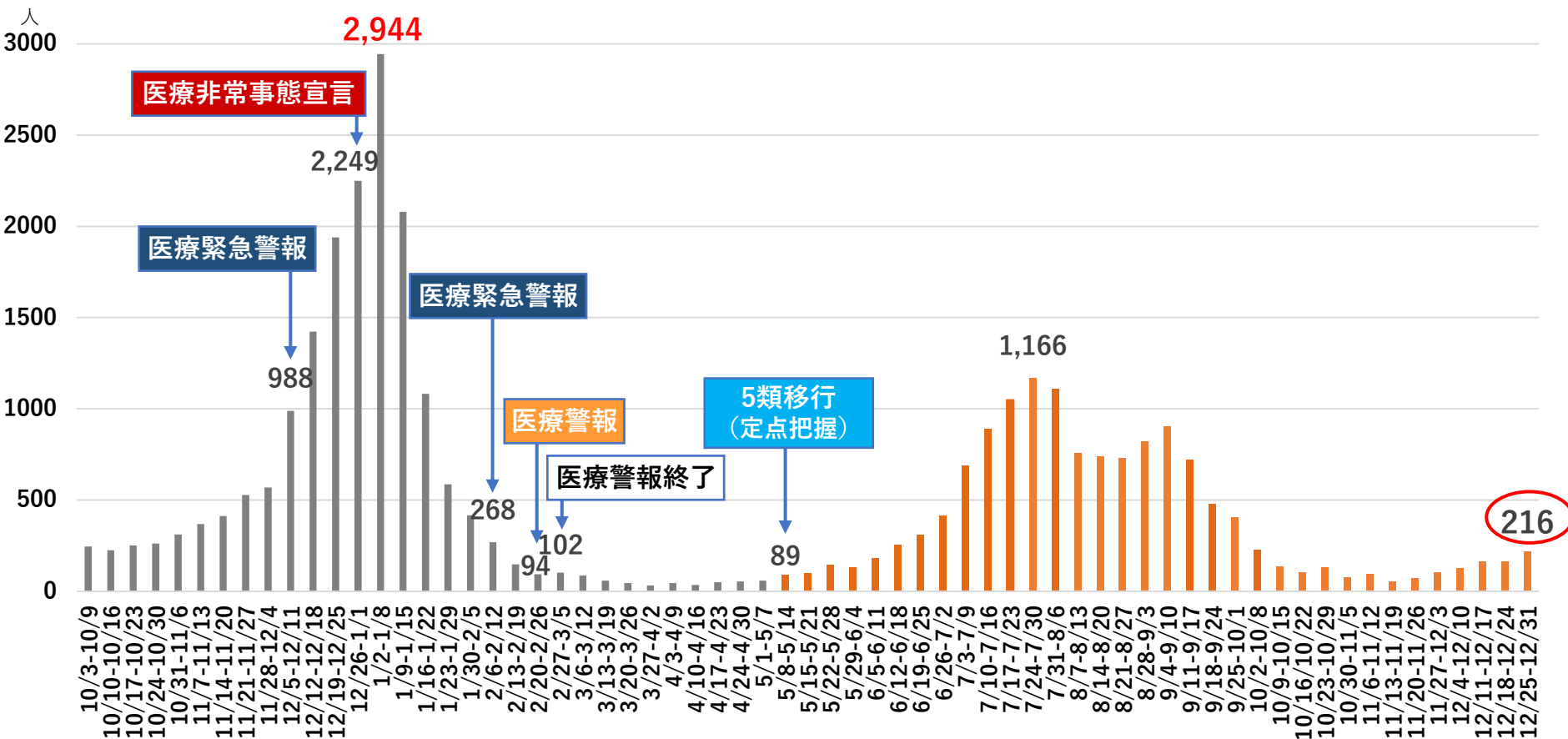
第8波 (R4.10.5~R5.3.2)



※ 定点医療機関からの報告数÷58定点医療機関。5類移行前(定点把握前)の数値は参考値

・12月25日の週の速報推計値は216人／日となっており、12週ぶりに200人を上回った

第8波（R4.10.5～R5.3.2）



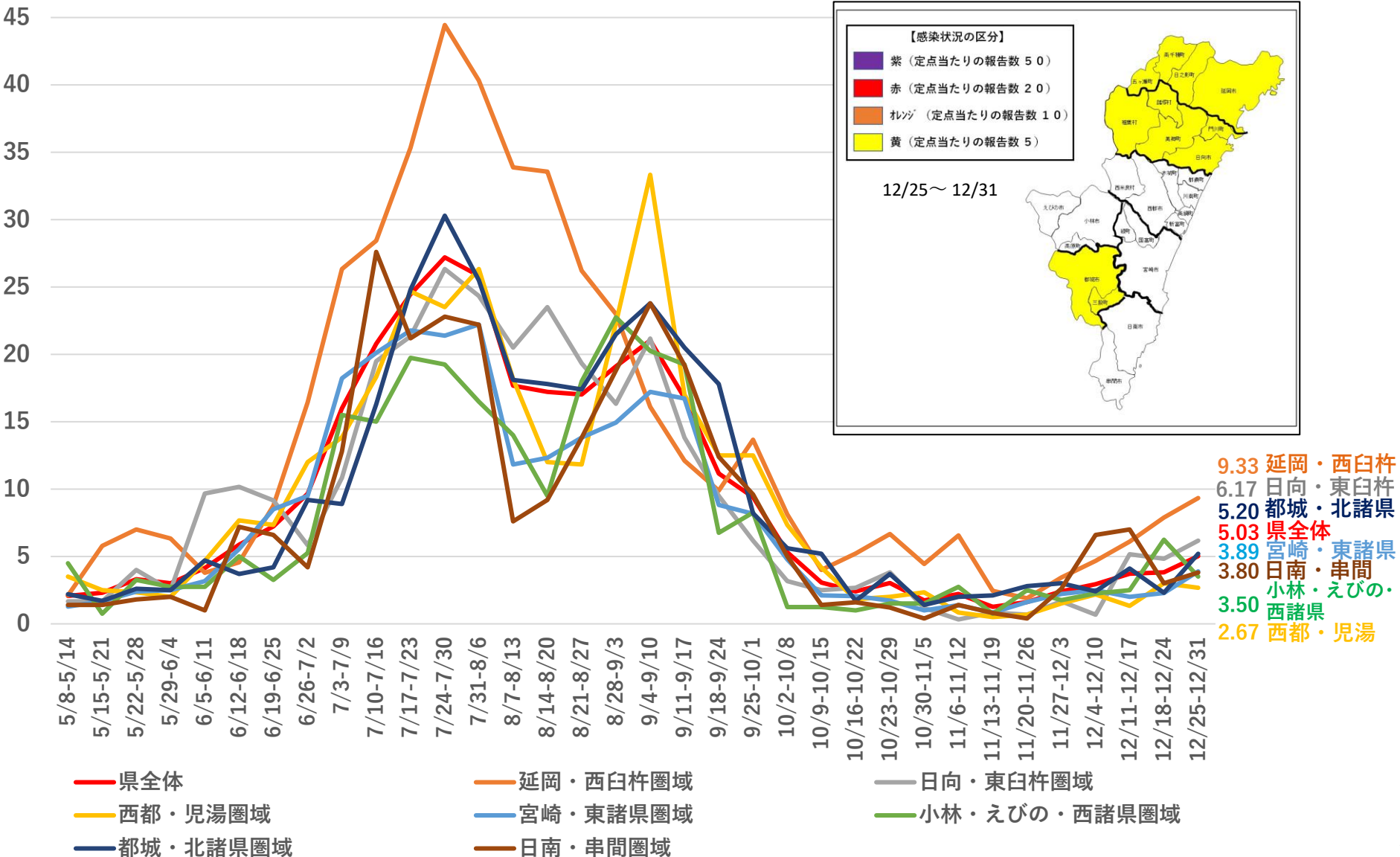
5類移行前は実人数（1週間合計人数）を7日で除した人数

5類移行後は、「第8波」の感染状況を基に推計（※）

※ 定点当たりの報告数1に対し、人口10万人当たりの新規感染者数が約30人となることを踏まえ、定点当たりの報告数×30×10÷7日により算出

- ・日向・東臼杵圏域、都城・北諸県圏域が「区分なし」から「黄区分」に変更となる見込み
- ・小林・えびの・西諸県圏域が「黄区分」から「区分なし」に変更となる見込み

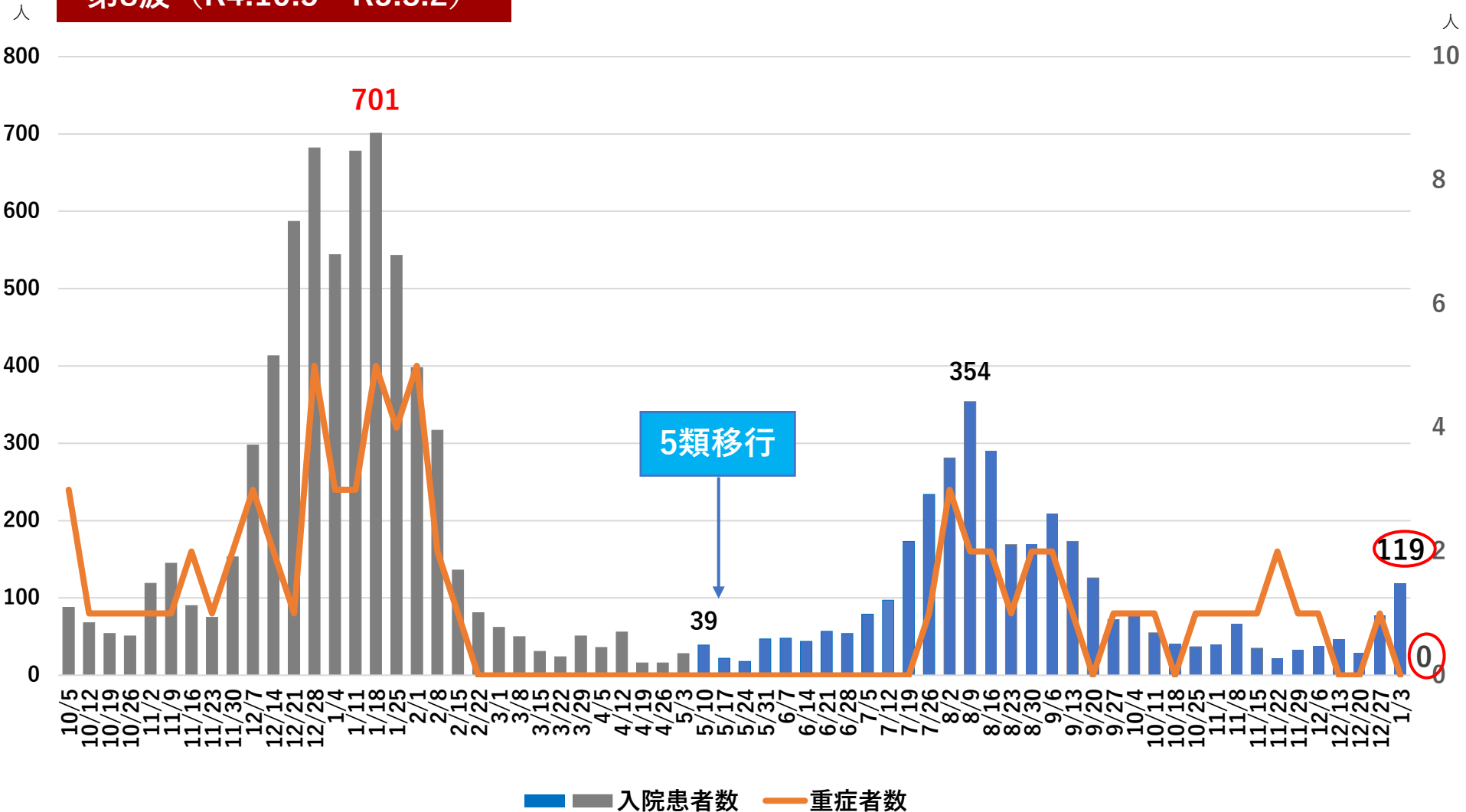
人／定点



【新型コロナ】入院患者数

- ・感染増に伴い入院患者数も増加しており、1月3日時点の入院患者数は119名と、2週連続で前週比増となった。また、入院患者の報告数が100人を超えるのは、9月20日時点以来15週ぶりである
- ・なお、重症者数は0名となっている

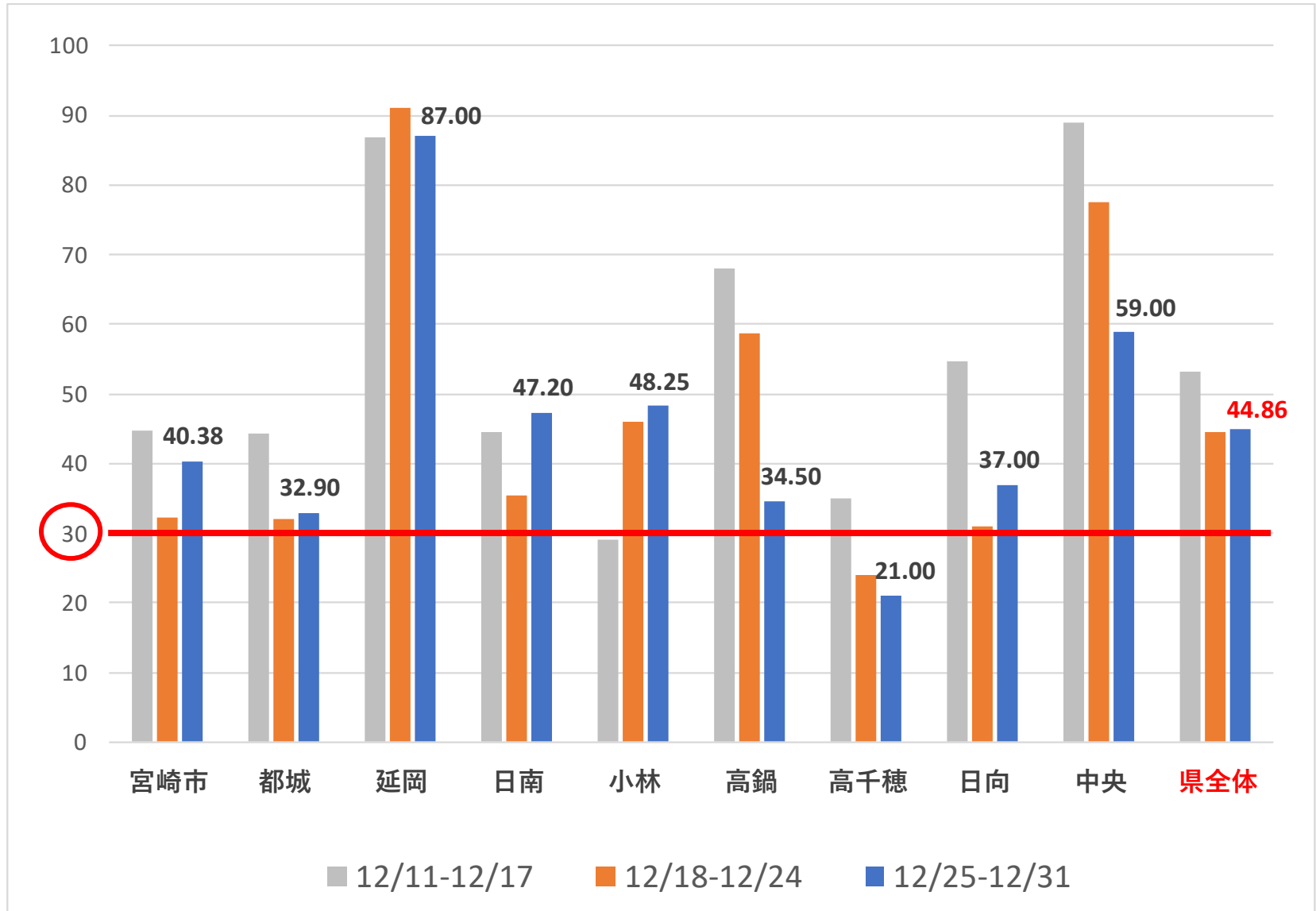
第8波 (R4.10.5~R5.3.2)



※ 国の方針に基づき、原則、毎週水曜日時点の県内の医療機関からの報告数を公表

速報【インフルエンザ】 定点当たりの報告数 保健所別推移 (3週分)

・ 県全体の定点当たりの報告数について、12月25日の週は速報値44.86(前週44.43、前週比1.01倍)と、依然として流行警報レベル(30)を超える厳しい状況が続いており、引き続き適切な感染防止対策の徹底が必要



引き続き、リスクに応じた感染対策の実践を！

以下に感染対策のポイントをまとめていますのでご参照ください（インフルエンザにも基本的に有効です）

◆ 新型コロナの予防のポイント ◆

① その場に応じたマスクの着用や 咳エチケットの実施

医療機関・高齢者施設を訪問する時や混雑した場所では、マスクの着用を！ せき、くしゃみは人にむかってせず、とっさに出そうなときは顔をそらして、ティッシュなどで口と鼻をおおひましょう。

② 換気、3つの密 (密集・密接・密閉)の回避

窓を閉め切りがちな冬場も、換気の実践を！

③ 手洗いは日常の生活習慣に

帰宅時や食事前は、こまめな手洗い、手指消毒を！ 石けん、流水を使って、手のひらから手の甲、指の間やつめの間、手首までしっかりと洗います。洗った後は、清潔なタオルなどでよく拭き取って乾かします。

● 体調が悪いときには

仕事や学校を休むなど、体調回復に努めましょう。

● 体調不良時への備え

コロナ抗原検査キットや解熱鎮痛剤などの常備薬、1週間分程度の食料を準備しておくで安心です。

● 病院を受診するときは

かかりつけ医やお近くの医療機関に事前に連絡し、不織布マスクを着用するなど感染防止対策を徹底した上で受診してください。



◆ 自分や家族が新型コロナに感染したときのポイント ◆

① 窓を開けて換気

共用スペースや他の部屋も頻繁に換気を！



② 部屋を分ける

可能な範囲で部屋を分けましょう！お話しはできるだけ限られた方で行い、接触する時間をなるべく短くするようにしましょう。

※心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

③ 共用スペースの消毒

手で触れる共用部分を消毒しましょう！ドアノブ、手すり、スイッチなどの共用する部分は、消毒用アルコールで拭きましょう。また、タオルなどの共用はやめましょう。

④ 手洗い等の手指衛生

石けんを使い、流水でこまめに手洗いをしましょう！アルコール消毒も有効です。

⑤ マスクを着用

感染した家族に接する時や外出するときは、マスクの着用を！

※乳幼児のマスク着用には注意が必要です。特に、2歳未満へのお子さんへのマスクの着用はやめましょう。

⑥ ゴミの処理

くしゃみをする時に使ったティッシュなどは、すぐゴミ箱へ/ゴミ袋は必ず密閉して捨てましょう。

⑦ 水分と睡眠を十分にとる

汗をかいたときや脱水症状の予防のためにも、こまめに水分を補給しましょう。水分はお茶やスープでも。

● お子さんの観察ポイント

こどもは自らの体調不良の意思表示が十分にできません。入念に健康状態をチェックしましょう。

- ・機嫌、食欲、呼吸のようすなどを観察してください。機嫌がよく、食欲があり、顔色が普通であれば基本的に心配いりません。慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。
- ・夜間や休日の受診の判断に迷った場合は、ウェブサイト(「こどもの救急」)や、電話相談窓口(「こども医療相談」#8000)をご利用ください。

● 感染された方は



発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は、**外出を控えることを推奨**(※2)



10日間が経過するまでは、**マスク着用**や**重症化リスクの高い方との接触を控えることを推奨**

(※1)無症状の場合は検体採取日を0日目とします
(※2)やむを得ず外出する場合は、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください

● お世話をする方や同居家族の方は

特に5日間は注意してください。7日目までは発症する可能性がありますので、混雑した場所を避け、マスクを着用しましょう。

保存版